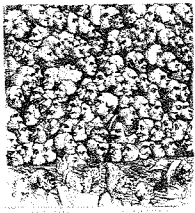


展示室 1 人物を描く

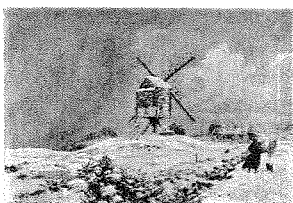


ウィリアム・ホーガース
「性格と戯画」

人物表現は、芸術の永遠のテーマの一つといえます。唯一無二の人を描き分ける人体デッサンなどは、重要な芸術家の修練でもあります。歴史画や、物語の絵画においても人は重要なモチーフになりますし、肖像画のように人そのものが主題となる事もあります。イギリスの画家・ウィリアム・ホーガース（1697-1764）は、人体の正確な描写に加え、個性の表現にまで踏み込んだ肖像画の優品を残し、また風刺画家としても活躍しました。サー・ジョシュア・レイノルズ（1723-1792）は、肖像画の中に歴史画的要素や貴族趣味的な風俗を取り入れ、人気を博しました。19 世紀後半のラファエル前派の作品に登場する人物は、細密で装飾的な画面の中にしなやかなポーズをとって描かれ、詩的な感情を演出しました。個人として、群衆として、様々な人物の魅力が引き出された世界をお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ウィリアム・ホーガース	性格と戯画		エッチング・紙
ウィリアム・ホーガース	美の分析 I	1753	エッチング・紙
ウィリアム・ホーガース	美の分析 II	1753	エッチング・紙
ウィリアム・ホーガース	ビール街：ジン小路 ビール街	1750～51	エッチング、エンブレイヴィング・紙
ウィリアム・ホーガース	ビール街：ジン小路 ジン小路	1750～51	エッチング、エンブレイヴィング・紙
ウィリアム・ホーガース	サミュエル・マーティンの肖像	1758～60 頃	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	キティ・フィッシャーの肖像習作	1759～67 頃	油彩・キャンバス
サー・トマス・ローレンス	ラビー・ウィリアムズ牧師	1790 年代初頭	油彩・キャンバス
アルバート・ジョセフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868～84	油彩・キャンバス
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ		油彩・キャンバス
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	寝床での読書	1858	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ランプの明かりでの読書	1858～9	エッチング、ドライポイント・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ラルエット坊や	1859	エッチング・紙
ウォルター・シッカート	カフェの中	1914 頃	油彩・キャンバス
ウォルター・シッカート	古風な考えの私の母	1928 頃	エッチング・紙
ウォルター・シッカート	ムガール・タヴァーン、ドルーリー・レーン	1908	エッチング、アクアチント・紙

展示室 2 明治の魂



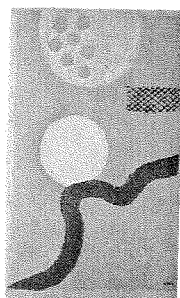
百武兼行「風車のある風景」

明治時代、西洋の文化を取り入れ始めた日本人にとって、日本を西洋の絵画技法でどう描いたらいいのか、ということは、今の私たちには考えがつかないほど大問題だったはずですが。そもそも、例えば遠近法のような、遠くのを小さく、近くのを大きく描く、といった一見単純なことは、実は日本人にはとても難しいことだったのです。なぜなら、そこには西洋の科学的な知識と眼がなければならなかったからです。今回は、江戸時代を引きずりながら、「近代」の中でもがく日本人の姿をのぞいてみましょう。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
高橋由一	明治天皇・皇后尊影	1892 (明治 25)	水彩・絹
梶田半古	蝶	明治 40 年代	絹本着色 (二曲一隻屏風)
小坂象堂	釈迦と賤婦之図	1895-99 (明治 28-32)	絹本着色
百武兼行	風車のある風景	1877 (明治 10)	油彩・キャンバス
広瀬孝次	田園景色	1890 (明治 23)	油彩・キャンバス
五百城文哉	真如堂図	1897 (明治 30)	油彩・紙
高村真夫	風景	1903 (明治 35)	油彩・キャンバス
野崎華年	富士	1907 (明治 40)	油彩・キャンバス
諫山麗吉	甲州猿橋		油彩・キャンバス
白滝幾之助	編物をする少女	1895 (明治 28)	油彩・キャンバス
原 撫松	霧の広場	1906 (明治 39)	油彩・キャンバス
原 撫松	奈良の夕	1911 (明治 44)	油彩・キャンバス
高橋由一	風景 (鳥海山)	1880 年	油彩・キャンバス

作者名	作品名	制作年	技法・材質
山本芳翠	園田銚像	1885 (明治 18)	油彩・キャンバス
山本芳翠	菊と蕪と蝸牛		油彩・キャンバス
浅井 忠	収穫	1893 (明治 26) 頃	油彩・紙
和田英作	上総風景	1897 (明治 30)	油彩・キャンバス
間部時雄	洛北の秋	1907 (明治 40)	油彩・板
高橋勝蔵	桃と葡萄	1909 (明治 42) 頃	油彩・キャンバス

展示室 3 色彩と形の詩情



恩地孝四郎
「Lyrique No.2 楽曲に寄せる抒情」

色彩や形は、みる者の感覚に直接うったえかけてきます。もしも、抽象的な絵画や彫刻をみるのが苦手と感じるのなら、まずは、色づかいや線の運びや形状などをじっくりと観察してみてもいいでしょうか。もちろん、具体的なテーマや制作の意図を知ること大切ですが、作品を前に自分の感覚や経験を頼りに思考したり、自由に想像をめぐらせることこそ、作品をみる醍醐味かもしれません。

今回の第3展示室では、色彩や形がもたらす詩情をキーワードに絵画や版画、彫刻作品を展示しました。作品とゆったり向き合う時間と空間をたのしんでいただきたいと思います。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
恩地孝四郎	Lyrique No.2 楽曲に寄せる抒情	ラヴェル「道化師の朝歌」 1933(昭和 8)	木版・紙
駒井哲郎	コレクション・ド・ラ・メール 1, 2		水彩・紙
野地正記	習作 (緑)	1963-67(昭和 38-42)	水彩・紙
鶴岡政男	ひとりぼっち	1924 (大正 13)	パステル・紙
吉田穂高	野宴	1959 (昭和 34)	木版・紙
難波田龍起	建物の構成	1954 (昭和 29)	油彩・キャンバス
村井正誠	いそぐ人	1956 (昭和 31)	油彩・キャンバス
佐藤 敬	石の対話		油彩・キャンバス
佐藤昭一	シリーズ透過02	2002 (平成 14)	アクリル・キャンバス
パトリック・コールフィールド	ジュール・ラフォルグの詩 (A版)	1973	シルクスクリーン・紙
アラン・グリーン	ドロイング 336	1995	ミクストメディア・紙
アラン・グリーン	赤に向かう白のアングル	1992	エッチング、アクアチント・紙 (株)カサハラ画廊寄贈
バーバラ・ヘップワース	石柱	1953	油彩・パネル
バーバラ・ヘップワース	ふたつのフォルム、青	1958	油彩・ボード
リチャード・ゴーマン	フラット	2000	油彩・キャンバス
ヘンリー・ムーア	座る人体：スカート		ブロンズ
ウーゴ・ラ・ピエトラ	作品	1987	陶器 NHK プロモーション寄贈

展示室 4 20 世紀イギリス版画



エドワード・ウォズワース
「乾ドック内の迷彩船」

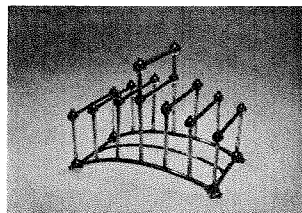
20 世紀のイギリスでは、前衛的でユニークな版画が続々と生まれました。機械的な形態と動きを特徴としたヴォーティシズム (渦巻主義) の作家のひとり、エドワード・ウォズワースは迷彩船や工業的テーマをダイナミックに表現しています。また、愛の歓びを宗教の高みへと至らしめたエリック・ギルは、精緻な表現ができる木口木版をとおして人間の内面を照らしています。

その他、流木や貝殻、頭蓋骨などの自然物から着想して制作したヘンリー・ムーア、日常を独特な視点から見つめたデイヴィッド・ホックニーなど、独創的なイギリスの作家たちによって生まれた、豊かで奥深い版画の世界をお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ロバート・ベヴァン	馬商人 (ウォードの倉庫 No.1)	1919	リトグラフ・紙
ロバート・ベヴァン	馬市 (パービカン No.1)	1920	リトグラフ・紙
ロバート・ギビングス	ペンキ屋	1921	木口木版・紙
ロバート・ギビングス	チューリップ	1922	木口木版・紙
チャールズ・ジナー	ピット・ハウス	1931	木口木版・紙
チャールズ・ジナー	イースト・ヒースにて		木口木版・紙
チャールズ・ジナー	コーンウォールのコテージ		木版・紙

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ポール・ナッシュ	ドイツ製二重トーチカ、ゲルフェルト	1918	リトグラフ・紙
ポール・ナッシュ	冬	1921	木版・紙
ポール・ナッシュ	冬の森	1922	木版・紙
クリストファー・リチャード・ウィン・ネヴィンソン	「航空機製作の六場面」より アセチレン溶接工 部品組立 エンジン製作	1917	リトグラフ・紙
スタンリー・スペンサー	取り戻したボール (囲い)	1953	リトグラフ・紙
エドワード・ウォズワース	ストリート・シンガー	1914	木版・紙
エドワード・ウォズワース	乾ドック内の迷彩船	1918	木版・紙
エドワード・ウォズワース	内部		木版・紙
ガートルード・ハーミーズ	スミレ	1930	木口木版・紙
アグネス・ミラー・パーカー	驢馬と人	1931	木口木版・紙
ジョン・バックランド・ライト	月明かり	1947	木口木版・紙
エリック・ギル	イエズス会士の殉教者	1923	木口木版・紙
エリック・ギル	エヴァ	1926	木口木版・紙
エリック・ギル	ゲッセマネ園でのキリストの苦悶	1926	木口木版・紙
ヘンリー・ムーア	『スカルプチャー・アイデア』より2点	1980	エッチング、アクアチント・紙 / ポートフォリオ
シリル・エドワード・パワー	地下鉄の階段	1929	リノカット・紙
シリル・エドワード・パワー	エレベーター	1930	リノカット・紙
デイヴィッド・ホックニー	『六つのグリム童話』(C版) 「みつげどり」より 湖 「ラプンツェル」より ラプンツェル 「こわさを習いに出かけた若者の話」より 家 鐘楼 燃える二つの死体 「リンクランクじいさん」より ガラスの山で何年もすごした王女	1969-1970	エッチング、アクアチント・紙 エッチング、アクアチント・紙 エッチング・紙 エッチング、アクアチント・紙 エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙 エッチング、アクアチント・紙

展示室4 暮らしの中の工芸



クリストファー・ドレッサー
「トースト・ラック」

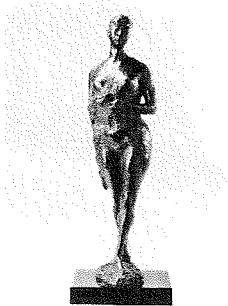
実用性や機能性に美しさを兼ね備えていること。工芸品のこうした側面を「用の美」とあらわすことがあります。

今回の展示では、かたちや大きさが使いやすいだけでなく、見て美しい、楽しい、味わいのある「用の美」を備えた作品を展示いたします。佐藤潤四郎の涼やかなガラスの器、クリストファー・ドレッサーの素材の特性を生かしたデザイン、また陶芸家達が趣向をこらした存在感ある茶碗など、実際に手に取った感触や使い心地を想像しながらご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤潤四郎	花器	1986(昭和61)	型吹・エッチング、カット
佐藤潤四郎	花器	1986(昭和61)	鍛鉄吹込
佐藤潤四郎	花器・一寸考えて		宙吹
佐藤潤四郎	花器		宙吹・雲母入
佐藤潤四郎	花器		宙吹
佐藤潤四郎	オリンピックブルー硝子皿	1941(昭和16)頃	宙吹 石井謙治氏寄贈
佐藤潤四郎	花器・穴があいてちょっと考えた	1980-82(昭和55-57)頃	宙吹・カット
佐藤潤四郎	灰皿		型押し
佐藤潤四郎	ルーマー杯・なみなみのワインを		宙吹・グラヴェール、ブランツ
佐藤潤四郎	瓶		宙吹・グラヴェール、ブランツ
佐藤潤四郎	ワイングラス		宙吹・グラヴェール 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	タンブラー 9点		型吹・他 佐藤久枝氏寄贈
クリストファー・ドレッサー	ケトルとスタンド		銅、真鍮、鍛鉄
クリストファー・ドレッサー	スプーン・ウォーマー		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	クラレット・ジャグ (ぶどう酒容器)		ガラス、金属金具、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	三角型薬味入れセット		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック (ポイントアーチ型)	1881	金属、電気メッキ

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
クリストファー・ドレッサー	花瓶（赤色クルーザ・グラス）		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	瓶（緑色クルーザ・グラス）		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	プロペラ瓶（緑色クルーザ・グラス）		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	緑釉蓮花刻文皿	1879-82 頃	陶器	
クリストファー・ドレッサー	青釉水差	1879-82 頃	陶器	
クリストファー・ドレッサー	色絵草花文隅切角皿	1886	陶器	
クリストファー・ドレッサー	刻文舟型容器	1892-95 頃	陶器	
仁阿弥道八	刷毛目鉢		陶器	渡辺宗侑氏寄贈
三輪休雪(11代)	白萩茶碗		陶器	渡辺宗侑氏寄贈
加藤土師萌	絵唐津茶碗	昭和	陶器	渡辺宗侑氏寄贈
浜田庄司	黒釉錆流描角皿		陶器	麻山富義氏寄贈
田村耕一	野草図楕円鉢	1963(昭和38) 頃	陶器	麻山富義氏寄贈

ロビー展示 彫刻・他



三坂耿一郎「まとう」

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
●1階エントランス				
アントニー・ゴームリー	量子雲ⅩⅩⅢ	2000	ステンレス、スチール棒	
アントニー・ゴームリー	領域ⅩⅢ	2000	ステンレス、スチール棒	
●1階展示ロビー				
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント	細川明子氏寄贈
●1階サブエントランス				
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
●2階展示ロビー				
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡1・2		陶器	寄託作品
佐藤潤四郎	石で仏足跡		石	寄託
柳原義達	黒人の女	1956(昭和31)	ブロンズ	
西 常雄	藤原義江像	1971(昭和46)	ブロンズ	
三坂耿一郎	まとう	1967(昭和42)	ブロンズ	
佐藤静司	女の首	1971(昭和46)	木彫	
佐藤静司	子供頭部		木彫	佐藤静司氏寄贈

※作品は都合により一部展示替えを行うことがあります。